

第一回 百名山の輪 久住山

報告者 高桑昭夫

山城・山名 大分県 久住連山 (1786m)
参加者 CL下窪 (つりばし)、SL高桑 (きたろう)、薦田 (八尾)
佐藤夫婦、中島 (雑木)、井上 (KONK)、佐竹 (くすのき)、
柏原 (ハイジ)

山行記録

6/7 (土) 10:15 長者原駐車場→12:05 雨ヶ池越→12:45 坊ガツルテン場テント
設営→13:25 テン場→14:20 大戸越→15:20 平治岳散策→15:46 平治岳
→16:18 大戸越→17:00 テン場

6/8 (日) 5:50 テン場出発→6:30 銚立峠→8:00 白口岳→8:40 稲星山→9:30 久
住山→11:15 諏蛾守越→12:45 長者原駐車場

費用 フェリー往復 : 27,260 円、レンタカー燃料含 : 5,100 円 計 32,360 円/人

とにかく圧巻のミヤマキリシマでした。

新組織部長の下窪さんの発案で六つの『山仲間の輪』の一つで『百名山の輪』の
第一回を実施しました。準備不足の中、他会の活動情報の交換や学びの場とし
て、この呼びかけに応じて、参加された方もいます。

もちろん 100 名山達成のためやミヤマキリシマに誘われた方もいます。種々の参
加動機と 7 つの会からの混成参加者での交流準備は出来ていませんでした。しか
し、大阪を出航すれば後述のように何の憂いもなく素晴らしい山行でした。

天候は 8 日から九州が梅雨入りした状況にもかかわらず、雨はテントの中とフ
ェリーに乗船中だけで 2 日間の山行中は降ったとは云えないパラパラ程度でし
た。余談ですが帰阪後の 9 日夜からは九州は警報級の降雨でした。

計画当初は予約の都合で別府便と大分便に分乗予定でしたが、井上さんのご尽
力でお発着日前に全員が別府便に乗船できることになりました。

そのおかげで、往路のフェリー内レストランで、先ずは 7 会 9 人の親睦を図るこ
とができ、これがその後の混成パーティーのチームワークを強くするのに大いに
役立ちました。それを盛り上げるかのようにさんふらわぁ企画でリーダーの誕生
会もしました。(誕生日の乗船はレストランが優待だそうです)

別府に到着後は 10 人乗りレンタカーを速やかに借り、これも別便だったらロスタ
イムが発生していたと思います。長者原駐車場まではリーダーの安全運転で着き
ました。しかし、駐車場は満車で歩道にも駐車している車もありましたが、グッ
ドタイミングで出た車があり、ここでもメンバーの日頃の行いとなにかを持って
るものがありそうな感じに感謝です。

そのおかげで、計画時間通りに山へ出発できました。坊ガツルテント場まではほぼ予定通りで順調に登りました。雨がパラパラ降ってきましたがテント設営中に止み、無事設営完了。その後の予定はテン場までの道中でMさんとお会いでき、ミヤマキリシマ情報を頂いていたため、コースを大船山から平治岳に変更したのが衝撃の感動を覚える始まりでした。リーダーの殊勲賞ものです。確かにテント場からでも平治岳は赤く見えていましたが、その後の感動ほどとは皆も思ってもいませんでした。

平治岳へは高度が上がるにつれて、あちらこちらにミヤマキリシマの花影が濃くなってきます。そして、大戸越

(写真)に着いたときは遠望では想像できなかった、息を飲むほどのミヤマキリシマの爛漫の歓迎です。

さらに、平治岳頂上へ登ると爛漫の景色は最高潮です。テン場に戻る途中に白色のミヤマキリシマを1株だけ見つけ、これまた大興奮です。

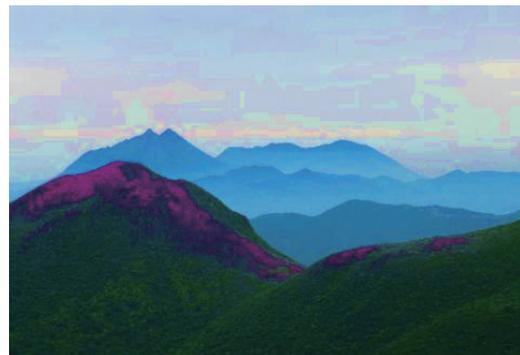


また雨がパラパラしてきましたが、テントの中での個食での夕食中は雨も一休みです。交流会もミヤマキリシマの話題で盛り上がりましたが、私を含め何人かが足がつって、これもテント泊のオマケみたいな経験の一つです。それを和ませるリーダーの一言に「つりばし」ではなく「つり足」には痛みも和らぐ笑みがこぼれていました。こういう経験や何気ないフォローの積み重ねでテント泊が上達することを知ってもらう機会にもなったかなと思います。

夜中は強い雨音もするぐらい降っていましたが。明日はダメかなあと覚悟するも翌朝はまたも雨は止んでいる。また何かを感じつつ、テントを撤収して久住山へ出発する。

白口岳からは由布岳を背景に平治岳を望むと(写真)、前日のミヤマキリシマの残像がラップして久住連山が華やかに紅に染まる。

諏蛾守越からの下山道はちょっと嫌らしいガレ場が続くも、滑り易くなる危険な本降りにはならず、慎重に歩き無事に長者原駐車場に着く。



帰路のフェリーの夕食会の反省会では、初めてのテント泊経験での未熟さに情けないとか、次は山の歌を皆で歌いたいなあとか、重いテントは担げないとか、種々の意見を今後活かすように留めて、さらに親睦を深めることが出来まし

た。夜中はどの辺りか分らぬが大雨でしたが、明石海峡大橋が見えるころには雨が止んでいてここでも何かを感じつつ、曇り空の大阪港に着岸する。本当に、最後まで行動には支障のないお天気恵まれたのは、私のゲン担ぎの手拭いのご利益だけでなく、最高のミヤマキリシマと参加者それぞれが新たな仲間との交流が円滑にできた小さな幸運の積み重ねは、初月忌にあたる故浜田さんのご遺徳の賜物ではなかったかと思うほど、何度も何度も何かを感じつつ久住山山行を終えました。

改めて、浜田さんのご冥福をお祈り申し上げます。

以上

【百名山の輪 久住連山参加者の感想】

■井上眞由美（北大阪のぼろう会）

7つの会、9人のメンバーで楽しく交流、各会の様子を知ることができ、学びの多い素敵な企画でした。お天気やお花の開花状況によって臨機応変にコースを変更し対応されたりリーダー下窪さんの判断はさすがで満足感いっぱいの旅でした。

■薦田薫（八尾山の会）

この春から受講している登山学校でのテント泊の練習を兼ねて、かつ先輩から色々学びたく、また他会の方々と交流したくて、参加しました。雨にもほぼ当たることなく、大船山を平治岳に変更したものの（大正解!!）予定通りのコースを歩き切ったことが自信になりました。皆さん健脚で、怪我なく下山、素晴らしいです。反省点は、装備は担いで頂き、偉そうにテント泊したとは決して言えないこと。下山後の脚の痛みは、まだまだ歩き方が悪い事を痛感しました、課題は歩荷トレーニングに尽きるかと。重い大きな荷物で歩かれた男性陣の皆さんに感謝しきりです。

■柏原庸子（女性ハイキングクラブ ハイジ）

「初めての九州登山、初めてのサンフラワー、初めて尽くしの山行で緊張しました。コースも長いので心配でしたが、ミヤマキリシマの満開をみれたので、凄く満足で頑張って歩き通すことが出来ました。下窪リーダーの判断と行動力に感激しました。また参加者の方々と色々お話できたのも、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。」



■佐藤俊明（雑木の会）

多くの感動から代表的なものを三つ

- ①久住の山々をあれほどまで見事に紅に染めるミヤマキリシマ
- ②それに勝るとも劣らぬ感動の笑顔でそれに見入るメンバーの顔かおカオ
- ③危ぶまれた空を、玉山で台風さえ足踏みさせたという手拭いのご利益とその持ち主さん

私も、初めてミヤマキリシマに染まる久住連山、初めてご一緒させて頂いたメンバーさん、楽しい船上の食事会初めてづくしの楽しい山旅でした。

今度は、メンバーさん方と「ミヤマキリシマ咲きほこり～くれない染める大船の・・・」と、歌えればと思っています。下窪さん、高桑さんはじめ、ご一緒させて頂きました、メンバーの皆さまありがとうございました

■ 佐竹ふじ枝（くすのき山遊会）

他会の方と交流ができた事が良かったです。リーダーの後を歩かせて頂いた事は、貴重な実技講習でした。次は、共同装備の一部を担げるようになりたいです。

■佐藤三枝子（雑木の会）

今回は妹の中島昭子と参加させて頂きました。

企画から山行までリーダーの下窪さんサプリーダー高桑さんには大変お世話になりました。又、井上さんのお計らいで同じ船で皆様とお食事の機会ができて本当に楽しい思いをさせて頂きました。以前、夏のノリウツギだけの久住山しか知らない私にとってミヤマキリシのくれないに包まれた久住山は正に念願を叶えられた山行でした。

他にも、オダマキ、リンドウ？、イワカガミ、マイズルソウ等々沢山の高山植物に出会う事が出来ました、夜間のテントと出発時では雨の心配をしましたが、リーダー方のよいご判断で久住連山を堪能させて頂き本当に満足致しました。又、参加者皆さんが楽しく無事下山出来た事が何よりでした。皆さま、これを機会に今後ともよろしくお願い致します

又、妹からも皆さまにお世話になり、又、ご一緒させて頂いた事で大変うれしい思いをさせて頂き本当にありがとうございましたとのことです。

■下窪義文（リーダー総括）

・今年から組織部で百名山の輪を提案して第一回目が無事に終了出来た事は良かった。

・船便予約に一月前から参加者確定が必要で、もっと早めたら良かった。

・大阪と神戸港からのフェリー予約便が大阪港からの一つに出来たのでパーティとしてのまとまりが出来た。

- ・パーティの行動としては9～10人までが最適かと、それ以上はアクシデントの要因となりやすい。
- ・参加9名、7クラブの輪が広がり目標を達成できた。船内食事とテントでの食事ができ各会とも交流ができた。

○良かった点

- ・ミヤマキリシマの群咲を見れて良かった。
- ・天気が大きくずれなかったので予定のコースを歩けた。
- ・参加者の皆様の協力で予定通りに行動することが出来た。
- ・フェリーは睡眠も取れて快適だった。

○反省と悪かった点

- ・9名の歩くスピードが掴めずペース配分を間違えた。
- ・歩く順番を工夫すれば良かった。
- ・テント泊初めての方への生活指導が自身出来なかった。
- ・天気は西から新たな前線が近づく予報で具体的に掴め無かった。
- ・山荘泊の希望者もいたが満室で予約できなかった。
- ・公共交通機関バスを利用すれば違う縦走もできた。